

様式第二号の二（第八条の四の四関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画書

平成 年 月 日

都道府県知事 殿

（市長又は区長）

提出者

住所

氏名

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 7 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。

事業場の名称		
事業場の所在地		
事業の種類		
前年度の産業廃棄物発生量		（種類） （発生量） t
本 年 度 の 目 標	産業廃棄物発生量	（種類） （発生量） t
	自己直接再生利用量	t
	自己直接埋立処分 又は海洋投入量	t
	自己中間処理量	t
	自己中間処理残さ 量	t

（日本工業規格 A 列 4 番）

(裏面)

	自己中間処理後再生利用量	t
	自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	t
	直接委託及び自己処理後委託処分量	t
事務処理欄		
備考		
1 この様式は、前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の4の4の基準に従って作成した産業廃棄物処理計画に添えて提出すること。		
2 当該年度の6月30日までに提出すること。		
3 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。		
4 「前年度の産業廃棄物発生量」の欄には、前年度に当該事業場において生じた産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量を記入すること。		
5 「本年度の目標」の欄には、当該年度の産業廃棄物処理に関して ~ の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量について、その目標量を記入すること。		
(1) 欄 当該事業場において生ずる産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量		
(2) 欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用する量		
(3) 欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量		
(4) 欄 (1)の量のうち、自ら中間処理する量		
(5) 欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量		
(6) 欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量		
(7) 欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量		
(8) 欄 (1)の量のうち他人に委託して処理する量に、(5)の量のうち他人に委託して処理する量を加えた量		
6 欄には、何も記入しないこと。		

様式第二号の三（第八条の四の五関係）

（表面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成 年 月 日

都道府県知事 殿
（市長又は区長）

報告者
住 所
氏 名
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 8 項の規定に基づき、平成 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称		
事業場の所在地		
事業の種類		
産業廃棄物発生量の目標		（種類） （発生量） t
計画 の 実 施 状 況	産業廃棄物発生量	（種類） （発生量） t
	自己直接再生利用量	t
	自己直接埋立処分 又は海洋投入量	t
	自己中間処理量	t
	自己中間処理残さ 量	t

（日本工業規格 A 列 4 番）

(裏面)

	自己中間処理後再生利用量	t
	自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	t
	直接委託及び自己処理後委託処分量	t
事務処理欄		
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none">1 この報告は、6月30日までに提出すること。2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。3 「産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度の産業廃棄物処理計画に記載した産業廃棄物発生量に関する目標を記入すること。4 「計画の実施状況」の欄には、前年度の産業廃棄物処理に関して ~ の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量を記入すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量(2) 欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用した量(3) 欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分した量及び海洋投入処分した量(4) 欄 (1)の量のうち、自ら中間処理した量(5) 欄 自ら中間処理を行った後の産業廃棄物の量(6) 欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量(7) 欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分した量及び海洋投入処分した量(8) 欄 (1)の量のうち他人に委託して処理した量に、(5)の量のうち他人に委託して処理した量を加えた量5 欄には、何も記入しないこと。		

様式第二号の四（第八条の十七の二関係）

（表面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p>都道府県知事 殿</p> <p>（市長又は区長）</p> <p style="text-align: center;">提出者</p> <p style="text-align: center;">住 所</p> <p style="text-align: center;">氏 名</p> <p style="text-align: center;">（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p style="text-align: center;">電話番号</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 8 項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、この書面を添えて提出します。</p>		
事業場の名称		
事業場の所在地		
事業の種類		
前年度の特別管理産業廃棄物発生量	（種類） （発生量） t	
本 年 度 の 目 標	特別管理産業廃棄物発生量	（種類） （発生量） t
	自己直接再生利用量	t
	自己直接埋立処分量	t
	自己中間処理量	t
	自己中間処理残さ量	t

（日本工業規格 A 列 4 番）

(裏面)

自己中間処理後再生利用量	t
自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	t
直接委託及び自己処理後委託処分量	t
事務処理欄	
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none">この様式は、前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が 50 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第 8 条の 17 の 2 の基準に従って作成した特別管理産業廃棄物処理計画に添えて提出すること。当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。「前年度の特別管理産業廃棄物発生量」の欄には、前年度に当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量を記入すること。「本年度の目標」の欄には、当該年度の特別管理産業廃棄物処理に関して ~ の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量について、その目標量を記入すること。<ol style="list-style-type: none">欄 当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用する量欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分する量欄 (1)の量のうち、自ら中間処理する量欄 特別管理産業廃棄物について自ら中間処理を行った後の産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む。）の量欄 (5)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却する量欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分する量及び海洋投入処分する量欄 (1)の量のうち他人に委託して処理する量に、(5)の量のうち他人に委託して処理する量を加えた量欄には、何も記入しないこと。	

様式第二号の五（第八条の十七の三関係）

（表面）

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成 年 月 日

都道府県知事 殿
（市長又は区長）

報告者
住 所
氏 名
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条の 2 第 9 項の規定に基づき、平成 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称		
事業場の所在地		
事業の種類		
特別管理産業廃棄物発生量の目標		（種類） （発生量） t
計画の実施状況	特別管理産業廃棄物発生量	（種類） （発生量） t
	自己直接再生利用量	t
	自己直接埋立処分量	t
	自己中間処理量	t
	自己中間処理残さ量	t

（日本工業規格 A 列 4 番）

(裏面)

自己中間処理後再生利用量	t
自己中間処理後自己埋立処分又は海洋投入量	t
直接委託及び自己処理後委託処分量	t
事務処理欄	
<p>備考</p> <ol style="list-style-type: none">1 この報告は、6月30日までに提出すること。2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。3 「特別管理産業廃棄物発生量の目標」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物処理計画に記載した特別管理産業廃棄物発生量に関する目標を記入すること。4 「計画の実施状況」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物処理に関して ~ の欄のそれぞれに、(1)から(8)に掲げる量を記入すること。<ol style="list-style-type: none">(1) 欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の種類及び種類ごとの発生量(2) 欄 (1)の量のうち、直接自ら再生利用した量(3) 欄 (1)の量のうち、直接自ら最終処分場に埋立処分した量(4) 欄 (1)の量のうち、自ら中間処理した量(5) 欄 特別管理産業廃棄物について自ら中間処理を行った後の産業廃棄物(特別管理産業廃棄物を含む。)の量(6) 欄 (5)の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量(7) 欄 (5)の量のうち、自ら最終処分場に埋立処分した量及び海洋投入処分した量(8) 欄 (1)の量のうち他人に委託して処理した量に、(5)の量のうち他人に委託して処理した量を加えた量5 欄には、何も記入しないこと。	